

月刊 ゴルフマネジメント 1

Photo : 太平洋クラブ御殿場コース

2019年 新春トップインタビュー ゴルフ界の展望を聞く

竹田恆正日本ゴルフ協会会長 手塚寛日本ゴルフ場経営者協会理事長

2017年度ゴルフ場入場者数、0.28%減の8553万人で確定

NGKからの提案「ゴルフ場での外国人材雇用に向けた要望活動」

充実したリゾート施設を完備し、満足度UP サニーCC(続編)

全国建設中・閉鎖ゴルフ場調査、建設中は事業廃止で減少
営業中2182コース、前年より12コース減少

クローズアップ21 コース改修で戦略性と景観美向上 太平洋クラブ御殿場コース
リース氏起用し世界基準のコースに

新春 2019 インタビュー 業界をリードする 関連企業の戦略を聞く

ゴルフ場様にとって最適なプランを プロデュースします

三和コンピュータ株式会社

昭和46年の創業以来、長年ゴルフ場システム界をけん引してきた三和コンピュータ株式会社。NECグループの強みを活かし提供するトータルソリューションは、ゴルフ場からの信頼も厚い。平成も終わりを告げ、来るべき新時代へ向けての方向性や戦略を、同社営業本部本部長代理飯島望氏に話を聞いた。

——早速ですが、2018年はどのような年でしたか？

飯島 ゴルフ場様にとっては天候や災害などで苦労された1年だったのではないのでしょうか。被害に遭われたゴルフ場様には改めてお悔やみ申し上げます。

当社としては、大型のシステム開発が佳境を迎え色々苦心する年であり、来年度のような課題に万全の対応ができるように準備をした年でした。それは、消費税率アップの問題、それにともなった軽減税率の対応。

あとは新元号ですね。さらに、2020年1月にサポートが終了するWindows7の問題。こうしたことにお客様が混乱しないように、準備をしておきました。併せてWEBでの発信を改めて整備いたしました。ホームページも刷新し、公式フェイブックも始めました。お客様にリアルタイムでお役に立つ情報を発信できればと思います。

これは、取引先様や社員、一般の方々も含め、当社のイメージを統一する目的として、

「総・ICTワンストップサービス」「匠・ICT技術力」「和・生活と仕事の調和」をテーマに掲げ広報活動にも更に力を注いでいきたいと思っています。

「ApproachX(テン)」導入開始

——準備の内容を具体的に教えてくださいいただけますか。

飯島 先ほど申し上げた課題に対応

する「ApproachX」を11月に発売いたしました。簡単に特長を申し上げますと、Windows10に対応、自社WEB予約機能標準搭載、軽減税率対応、日付の西暦化(和暦切り替え可能)、便利機能、見やすく使いやすいデザイン、です。

イメージ的には、当社の「ApproachXシリーズ」のマイナーチェンジ版でしょうか。いずれにしてもWindows10対応はしなければいけない、さらに、消費税の軽減税率は分けて表示しないといけない。そのタイミングでWindows7のサポート終了も重なった。こうしたイベント毎に対応するのではなく、その前に完全なWindows10対応版で、ゴルフ場様に対しても、早い時期から対策を立てましょう、とアナウンスしています。

——直前で焦らないで、今のうちからやりましょうと。

飯島 そうです。ゴルフ場様のシステム入替時期は、冬とか暑い夏が多いんですね。その前に製品化しておかないとお客様に提供できないので、だったらこの時期にということ。

Windows7の問題もあるので、パソコンの供給不足ということが起こる可能性もあります。XP問題のときもそうでした。ですから、早めにご用意いただいても対応できるように

にしました。

——注目の機能は何でしょうか？

飯島 直感的に操作できる画面にするためボタンや文字サイズ、フォントを変更しました。それと今までオプションだった、自社WEB予約機能を標準搭載したことでしょうか。やはりポータルサイト経由ですと、送客手数料がボディープローとなってきます。そこで我々は月額定額制度とし、送客件数による価格変動を回避しました。当然、スマートフォンにも対応しています。

——便利機能についても教えてください。

飯島 つまりは分析機能なんですけど、もちろん従来も様々な分析機能を搭



載しておりました。ところが、残念ながら「データはあるのに分析できない」という声を非常に多くいただいていた。理由は難しくしていきれない。例を挙げると、条件の入力でエラーになったり、欲しい情報を抽出するのに、手間がかかる等です。それを今回はもっと簡単にして直感的な操作で分析やデータ抽出ができるようなメニューを別に取りました。もっと簡単にできますよと。導入していただいたゴルフ場様には「今まで難しかったことが簡単になった」と喜んでいただきました。新しい機能というの、出尽くした感はありません。ですので、まずは使いつらい、分かりにくい、と言われ



営業本部本部長代理
飯島 望氏

ていた部分を改善していきたいと思っております。

人材不足を解消するアイテムとは？

——ゴルフ場にとって、人手不足も深刻化しています。

飯島 人材の確保はゴルフ場の問題だけではなく、日本全体で考えなくてはなりません。海外からの労働力に頼るのも方法かもしれませんが、ゴルフ場の仕事は専門性が高く、しかも朝が早く土日がピークということから、簡単ではないでしょう。やはり、省力化、少人数運営に対応したシステムの需要が高まると思います。こういった部分でも当社は皆さまのお力になれると思います。実際、ここ数年自動精算機を導入するゴルフ場が増えていきますし、精算だけではなく今ではチェックインもできます。さらに、これをきっかけにスコアホルダー（ICカード）だけで、自動販売機、ロッカーなどを管理できる一元管理にも興味を持っていただいています。他にはGPSナビの人気も高いです。距離精度の向上、スコア入力機能などがゴルフファアの心をつかんだことに加え、価格帯が広がったのも理由の一つでしょう。

——AIの実用化も近そうですね。

飯島 人材不足はさらに加速するので、機械化に頼るしかありません。

当社はホテル向けシステムも提供しているのですが、ホテル業界は大幅に進んでいますね。ロボットが接客するという触れ込みのホテルも話題です。それは極端にしても、ゴルフ場にも新しい波が来ることは間違いありません。

2020年の東京オリンピックではNECがゴールドパートナー（パブリックセーフティー先進製品&ネットワーク製品）になっています。NECの顔認証システム技術は世界一であり、オリンピックでは30万人にのぼる大会関係者を顔認証で登録して管理するそうです。

また、先程紹介したホテル業界ではチェックインはもちろん客室のドアの開閉、レストランの会計などを顔で認証する試みが始まっています。

——顔がすべてのキーになっているわけですね。

飯島 そうです。ゴルフ場でもチェックインなどではできるのですが、嫌がる方も多くいるので、ハードルはまだまだありますが、ゴルフ場にもうまくマッチさせて、人材不足なども解決できる仕組みを提供していきたいなと思っています。

——2019年の戦略・方向性などありましたら教えてください。

飯島 先ほど申し上げたように、2019年に起こる様々なイベントに対応できるように準備してきました。

まずは、そのために上市した「AP ProachX」を拡販していきます。自動精算機、GPSナビは数年前から動きがよく、こちらも引き続き力をいれていきます。また、ゴルフ業界へあつと驚くニュースを提供できると思いますので、ご期待下さい。

——最後にゴルフ場にメッセージをお願いします。

飯島 今後もゴルフ場様が抱える様々な問題を解決するお手伝いをしていきたいと思っております。さらに、新しい技術、AIの活用、ロボットソリューションなども常に開発中です。こちらの技術は、人材不足をお助けできるのではないのでしょうか。忘れてはいけないのが、2019年1月のルール改定です。「プレーアスト」や「レディゴルフ」の考え方がゴルフ業界にとって追い風になると期待しています。引き続き今後ともよろしくお願い致します。

問い合わせ

三和コンピュータ株式会社

営業本部 サービス営業部

〒106-0047

東京都港区南麻布3-20-1

TEL 03(5421)8503

FAX 03(5421)8509

URL <http://www.sannacomp.co.jp>